

## 受診をお考えの皆さまへ

- 新型コロナウイルス検査は従前通り行っておりません。
- インフルエンザウイルス検査について  
入院が必要な状態と医師が判断した時のみ、検査を実施しております。  
(都立小児総合医療センターの方針に準拠)  
受け入れ先病院の決定のためには必要な診療情報となるためです。
- 抗インフルエンザウイルス薬の処方について  
カロナール等の処方が基本となります。  
臨床診断に基づく抗インフルエンザ薬処方については、担当医とご相談ください。
- 帰宅された後に以下のような状況になった際には、再度受診をしてください。
  - \* ジュースなどの水分が全く取れず、排尿が1日3回以下の時
  - \* 痙攣<sup>けいれん</sup>を起こす、意識がなくなる、変なことを30分以上継続して話している、  
変なものが30分以上継続して見える、などの神経症状がある時
  - \* 咳き込みがひどく、呼吸が苦しく、お腹がぺこぺこする呼吸や鼻をひくひくする呼吸を  
している時
  - \* 下痢<sup>げり</sup>や嘔吐<sup>おうと</sup>が頻回で、ぐったりして遊ばない時
  - \* 顔色が悪く、ぐったりしている時
- 以下、ご一読いただき参考にしていただければと存じます。
  - ・インフルエンザウイルス感染症は基本的には軽症で自然治癒<sup>ちゆ</sup>します。
  - ・インフルは1シーズンで1000万人以上かかり、繰り返し感染して十分な免疫がつく高校生になると学級閉鎖が激減します。タミフル等の抗インフルエンザ薬は発熱期間が24時間短くなるという効果だけです。
  - ・新型コロナウイルス感染症はオミクロン株主体となり、7~9割が無症状、また重症化する方も減少しました。すでに世界人類の8~9割が抗体保有とWHOも推測しています。

2022年12月24日

町田市医師会休日・準夜急患こどもクリニック